

時	学習内容	学習活動	評価の観点				評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
1	タンパク質の構造と性質	タンパク質の基本構造と構造から起因する基本的な性質を理解する。				◎	タンパク質のもつ共通的な構造を図示することができる。	行動観察
2	酵素のはたらき	酵素の構造とそのはたらきの関係について理解する。				◎	タンパク質や酵素に関するミニテストを解くことができる。	行動観察 ミニテスト
3	実験立案	実験テーマの選択と実験計画を立案する。	○		◎		実験のテーマに関心をもち、それを達成するための実験工程を作ろうとしている。	行動観察 実験計画書
4	実験計画	教員の添削を受けた実験計画書を元に計画の修正を行い、見通しを持った具体性のある実験計画を立案する。	○		◎		実験の工程をイメージして、必要な操作、器具、材料等を的確に把握して実験工程の想定をしている。	行動観察 実験計画書
5 ～ 8	実験1～4	実験計画に基づき実験活動を行う		○	◎		実験を適切に行い、現象をよく観察し記録し、レポートにまとめている。	行動観察 実験計画書
9	レポート執筆、考察および課題解決	実験で得られた結果を元にレポートを執筆し、設定された設問に対して解答・記述する。		◎	○		設問の意図を理解し、論理的に思考し、文章で表現している。	レポート
10	異なるテーマに取り組んだ班との情報共有と、テーマ横断的な課題を解決する。	異なる実験テーマに取り組んだ他者と情報を共有し、現象に共通する原理・法則を導き、テーマ横断的な設問に解答・記述する。		◎		○	様々な生物現象に関する実験結果・考察から原理・法則を導くことができる。 タンパク質や酵素に関する複合的な問に記述で答えることができる。	行動観察 プリント